

今月の



## 隣に伝えたい 新たな言葉と概念

### 【DESIGN-R®】

英 DESIGN-R®

和 DESIGN-R®

#### 【用語解説】

DESIGN-R®は褥瘡の状態を数値化するツールである。2002年に日本褥瘡学会からDESIGN®が公表され、治療過程の評価用ツールとして使用開始された。その後2008年にDESIGN®にR (Rating: 評価, 評点)を加え、現在のDESIGN-R®へ改訂された。

このツールはD (Depth: 深さ), E (Exudate: 滲出液), S (Size: 大きさ), I (Inflammation/Infection: 感染/炎症), G (Granulation tissue: 肉芽組織), N (Necrotic tissue: 壊死組織), P (Pocket: ポケット)から構成され、深さ以外の6項目に重みづけがされている。6項目の合計点が褥瘡の重症度を表しており、点数が大きいほど重症であることを意味している。また大きな変更点として、深さ判定できないものを判定不能 (unstageable) と評価し、その頭文字のDUのカテゴリーが追加されている。DESIGN-R®の合計点は、個々の褥瘡の治療過程を評価できるだけでなく、異なる褥瘡間の重症度の比較も可能となった。また、DESIGN-R®から創の特徴に合わせた局所治療の選択や、合計点から褥瘡の治療予測にも使用できる利便性の高いツールである。

褥瘡経過評価用ツールがDESIGN-R®に移行しても2002年版DESIGN®が使用されなくなったわけではなく、褥瘡以外の難治性潰瘍 (糖尿病性潰瘍など) の創評価を行う際に使用する。そのため、DESIGN-R®の点数を表記する際は「D」と「ESIGNP」の間に「- (ハイフン)」を入れ、2002年版DESIGN®との差別化を図っている。

#### 【その他必要事項 (本用語とつながりの深い専門分野, 関連学会など)】:

(参考図書)

日本褥瘡学会編. 褥瘡ガイドブック第2版. 東京都: 照林社; 2015

(参考文献)

立花隆夫, 松井優子, 須釜淳子ほか. 学術教育委員会報告 -DESIGN 改訂について. 褥瘡会誌 2008; 10: 586-596

(関連学会)

日本褥瘡学会など

(国立病院機構横浜医療センター 薬剤部 有泉牧人)  
本誌265pに記載